

保育所の指定管理について



栄 寛美 議員

保育所に関しては、現代の大きな社会現象である少子化、女性の社会進出、核家族化等による影響に加えて、保育ニーズの多様化や就労形態に対応した休日・夜間保育、一時保育や病児・病後児保育など子育て支援の充実や多様な機能が求められます。

保育事業の充実を図るには、今以上の財源の確保が必要であり、「公立保育所の運営をいかに民間の経営手法を取り入れてサービスや市民満足度の向上と事業の効率化を図るか」という視点が重要と考えます。そこで以下伺います。

①公立・私立保育所の現状の比較について②指定管理者と直営での運営の比較について

○子育て支援担当部長

①本年4月1日現在の定員は、公立保育所が961人、認可保育所としての民間保育所が1704人です。サービス面では、どちらも国が示す「保

新病院では診察待ち時間の短縮等サービスアップを



井上 英治 議員

育指針」に基づき保育を行っていることから、保育の質に差はないものと考えています。

②指定管理者制度では、民間のノウハウ等を活かした独自の事業展開を実施し、多様な保育ニーズに対応したサービスの提供が図られています。

経費面では、運営の効率化等で一定の経費の削減が図られているものと認識しています。

一方、直営では40年以上培ってきた保育の実績に基づき、安心安全な保育との認識が定着している面があります。

このほか

○中小企業振興について



指定管理者制度が導入されている庄和第1保育所の様子

新市立病院は、来年3月竣工、7月開業の予定ですが、単に「建物が新しくなった」「最新の医療機器が入った」だけでなく、「患者サービスも便利になった」「待ち時間も短く、会計までスムーズになった」と、病院へ行くのは一日仕事と言われないようにするために、待ち時間の短縮には市内のクリニックで導入されているシステムを参考にすべきです。

また、現在では各診療科前で問診が行われていますが、プライバシーへの配慮からも予診室などで行うべきですが、新病院ではどのような対応を考えているのか伺います。

○病院事務部次長

待ち時間短縮に向けての議員ご提案の方式はインターネットを使うため、個人情報保護条例による制約や、費用面から難しいと考えています。

新病院では、医療情報シス

公共駐車場について



栗原 信司 議員

テムの機能拡張による受付から会計までの手続きの電子化、総合診療科の新設による患者さんの分散化、全診療科の完全予約制の導入など、運用におけるサービスの向上でスムーズな受診に努めていきます。

新病院での問診では、新たに設置予定の総合診療科の待合などに設置する対面式の説明コーナーや、相談室の個室を必要に応じて利用するなど、患者さんのプライバシーに配慮した対応に努めていきます。

このほか

○土地開発公社の用地活用は進んだのか

中央図書館や庄和図書館など図書館という目的が同じ施設であっても、その駐車場には有料と無料という違いがあります。市民サービスの公平性という観点から、市の公共施設の駐車場の統一ルールを作るべきではないでしょうか。

また、最近のマスコミ報道

では、駐車場に設置された防犯カメラの映像が犯人検挙に効果を上げているようです。

市内でも、防犯カメラは、中央公民館・小中学校等で地域の犯罪を未然に防ぐなど大きな成果を上げているようです。

各公共施設やその駐車場をはじめ、市内全域に、積極的に防犯カメラを設置するべきではないかと考えますが、今後の防犯カメラの設置計画について伺います。

○選挙管財担当部長

公共駐車場の有料、無料に関する明確なルールはなく、公共施設ごとに設置目的や地理的条件等の違いがあるため、総合的に勘案して判断しているものと考えています。

○市民生活部長

市では「春日部市防犯のまちづくり推進計画」を策定し、街頭や公共施設への防犯カメラの設置を位置付けています。今後、計画に基づき、公共駐車場も含め効果の期待できる設置場所等について、春日部警察署や関係部署とも十分に協議していきたいと考えます。

このほか

○地中熱空調設備設置補助金

○ごみ対策

○公共施設にミストシャワー

TPP交渉即時撤退で 抜本的な農業対策を



坂巻 勝則
議員

本市の農地面積は2336ヘクタールで、県内10位という大変広い農地を有しています。農業は、食料を生産すると同時に、貯水機能や地球温暖化の抑制、豊かな景観の形成など、さまざまな機能を有しています。しかし、農業を取り巻く環境は従事者の高齢化や後継者不足、農産物価格の低迷など、大変厳しい状況にあります。今日の日本の農業の困難を作り出した根本には、歴代自民党政権による農政があります。それは食料輸入自由化路線のもとで、国民の食料を際限なく海外に依存する農政が続けてきたことです。小泉政権時代には食糧管理法を廃止し米取引の自由化をしたため、米価が下がり続け、農家の暮らしを直撃しました。1995年からはミニマムアクセス米の輸入を開始し、毎年77万トンの米の輸入をし、米余り現象を生み出し

ました。安倍政権は過剰米対策には手をつけず、TPP交渉でさらに7万トンもの追加輸入を認めてしまいました。市は農業に悪影響を及ぼすTPP交渉からの即時撤退を国に求めるべきと考えますが、市長の考えを伺います。

○市長

TPPについては、国政において交渉の途上にあります。市では地域農業の振興として市内の農産物の魅力を最大限活かし、意欲のある農業者を支援していきます。

このほか

○豊春駅前通りの歩道整備を

公園・グラウンド について



石川 友和
議員

この質問に至った理由の一つとして、公園で集まってゲームをしている子どもたち、「みんな集まっているのに野球もしないでゲームをしているのかい」と聞いたところ、「だってこの公園はボール遊び禁止だもん」と言われたことがあり、私は何も言い返す

ことができませんでした。そこで、現在のボール遊びができる公園の数と、ボール遊びができなくなってしまう公園の理由を伺います。また、ボール遊びができなくなってしまう公園に対しての代替地などの対策は考えたのか伺います。

○建設部長

公園数については、平成27年4月1日現在、市で管理している公園数は341カ所です。その内、ボール遊びを可能としている公園は186カ所となっています。

ボール遊びができない主な理由は、近隣住宅の破損や、遊びに伴う大きな音などです。公園でルールやマナーを守っていただけ利用者がいることから、地元自治会においてルールを決めていただき、止むを得ず禁止しています。

代替地は、用地や財源確保などの課題から難しいと考えられています。今後、注意喚起の看板や防球ネットの設置など、地元自治会と調整を図りながら、ボール遊びができる公園の確保に努めていきます。

このほか

○姉妹都市フレーザーコースト市との国際交流について

タブレットPC等を 導入したペーパーレス 会議の推進について



木村 圭一
議員

ペーパーレス会議とは、会議中に使用する資料を紙に印刷し配布するのではなく、パソコンやタブレット端末を使って、電子データを共有し閲覧しながら行う会議です。この取り組みは、紙による印刷を行わないため、いくつもの紙書類を持ち歩く必要もなく、紙資料の紛失も防げます。また、環境に配慮する面からも、多くの紙を節約することで温室効果ガスの排出削減が期待されます。そこで、この取り組みについての考えを伺います。また、利用できるエリアや対象者を限定するなど、試験的に行うことはできないか伺います。

○総合政策部長

ペーパーレス会議は、国の指針でも推進されており、県内では、さいたま市や飯能市が導入しています。本市でも、紙の使用量の削減効果のほか、会議資料のカラー化による分

かりやすさの向上、会議効率化の観点からも、情報通信技術の活用事例として、有効なものと考えています。

さまざまなメリットが期待できることから、他市の事例を参考にし、部長級職員会議などで試験的な実施が可能となるよう、部分的な環境整備について検討していきます。

このほか

○本年度の浸水軽減対策について
○図書館の出張窓口設置について

○外出時のための、携帯型救急安心カード配布について



タブレット端末を利用した会議イメージ

鉄道高架の今後の見通しについて



小久保博史
議員

春日部駅付近連続立体交差事業は、春日部市の将来を左右する大きな事業です。

中心市街地の活性化は、単に駅舎を上げれば完了ということではなく、その対象は、都市計画、商業、道路・交通環境など、行政の幅広い分野にわたるため、地方自治体の関係部局が連携した総合的な取り組みが必要であることは、皆さんご存知の通りです。

現在、まちづくり、財源の確保、事業期間の短縮という3つの課題解決に向け、県と協議が進められています。その中で、一番に「まちづくり」が挙げられていることから、駅周辺のまちづくりが重要であることは理解できます。

中心市街地まちづくりの具体化を、市ではどのように進めているのか伺います。

○鉄道高架担当部長
連続立体交差事業の効果をも最大限に発現させるため、

「春日部市中心市街地まちづくり計画」を策定しました。

各施策については、先行整備することで地域の利便性が大幅に向上する道路整備などがあることから、本事業の進捗や周辺の整備状況などを総合的に勘案し進めていきます。

また、市街地再開発事業等のまちづくりの促進には、地域住民の皆さまの合意形成が大変重要と考えており、本事業に対する機運を、なお一層盛り上げながら進めていきたいと考えています。

このほか

○教育環境の充実について



神明貝塚の現状と今後について



斉藤 義則
議員

市内には、古来より先人によって伝え守られてきた有形・無形の文化遺産があり、私の地元でも県や市の指定、そして国の登録制度によって保護、保存されています。

そのなかでも神明貝塚は、西親野井地区に広がる、今から3500年前にさかのぼる埼玉県を代表する縄文時代の大規模貝塚です。

平成21年から、文化庁や埼玉県との指導、協力を得ながら国史跡化に向けて発掘調査を行っています。今回の調査で明らかになった成果と、今後の見通しについて伺います。

○社会教育部長

平成21年度から25年度までの5カ年は、貝塚の規模を明らかにする調査を進めました。その結果、東西約160メートル、南北約140メートルの規模で、その中央部には貝塚が存在しないドーナツ状に広がっていることを明らかに

しています。平成26年度の調査では、貝塚を築いた縄文人の住居跡の確認を行い、2軒の住居跡の一部を発掘しました。また、発掘した遺物の整理調査も進め、縄文人の食卓の一部を解明しつつあります。

今後も引き続き、文化庁や県の指導を仰ぎながら調査を進めていき、調査結果である総括報告書を作成し、国史跡化を目指すなど、神明貝塚が郷土の文化遺産として後世へ保護、保存できるよう、進めていきたいと考えています。

このほか

○改正道路交通法について

「子どもの貧困」問題について



蛭間 靖造
議員

格差・貧困問題の社会的関心が高まる中、「子どもの貧困問題」が取り上げられています。子ども期の貧困に関する保育・教育・福祉・医療等でそれぞれ横断的な取り組みを促進することが大事だと思えます。そこで、「子どもの貧困対策の推進に関する法律」

の概要と現在の状況、市の考えについて伺います。また、法律や大綱に定められた支援策に対する市の取り組みや推進体制について伺います。

○子育て支援担当部長

当法律は、子どもの貧困対策に関し、基本理念、国や地方公共団体等の責務、子どもの貧困対策の基本となる事項を定め、子どもの貧困対策を総合的に推進するものです。

国は大綱を閣議決定し、基本方針等を定め、県も子どもの貧困対策を総合的に推進する環境を整備しました。市では、既に個別の取り組みとして実施しているものもありますが、個々の取り組みや推進体制を整備し、子どもの貧困という側面から効果的に組み合わせるを実施するのは、これからであると考えます。子どもの貧困対策に対する取り組みは、基本的には法律や大綱で定められた大枠に沿った形で、国や県の動向を注視しつつ、関連する取り組みの精査を進めていきたいと考えます。

このほか

○古隅田川左岸から埼玉葛藤場へ抜ける黒沼耕地の遊歩道に至るまでの歩行者の安全対策について

傍聴して一言

執行部側の答弁は、やや長い感じがしますが、全体として分かりやすい答弁で、良い印象を受けました。

地方分権の時代を迎え、議員と執行部両者の更なる研究検討をお願いします。

男性・81歳

市立病院外来診療の予約サービスは、現在の病院の状況からも医師を増やすことが最重要ではないでしょうか。

新病院の充実を切に願っています。

女性・70歳

市役所移転とまちづくりについては、大雨による浸水が市内でもあったことから、興味深く聞くことができました。災害時の拠点にもなる、環境庁が推進する「グリーン庁舎」を目指し、また市民の意見が取り入れられる機会があると分かり、本庁舎整備審議会の傍聴もしたいと感じました。

また、市長自身の言葉で、春日部市の未来のビジョンを語って欲しい。

女性・47歳

鉄道高架、市役所庁舎移転の件について、話がよく分かりました。

男性・73歳

議会を傍聴して、自分たちが選出した議員さんが、しっかりと仕事をしてくれているなど感じました。

女性・66歳

普段分からない状況や数字などが分かり、とても良かったです。また、時間がある時に傍聴したいと思います。

女性・64歳

図書館の出張窓口設置については難しいとの回答でしたが、市役所の移転新築の際に設置の検討をお願いしたい。

男性・60歳

※割愛させていただいた部分もあります。

政務活動費 収支報告一覧の公開

政務活動費は、地方議会議員の調査・研究・その他の活動に資するために交付されています。政務活動費の収支報告一覧を、市議会ホームページ

今定例会傍聴状況

月日	傍聴者数	主な日程
8/24	5	上程・説明
27	3	質 疑
28	1	質 疑
31	1	質 疑
9/1	2	質 疑
3	0	委員会
4	6	委員会
8	16	一般質問
9	15	一般質問
11	52	一般質問
15	46	一般質問
16	11	一般質問
18	3	討論・採決
合計	161	

ジで公開していますので、ご覧ください。

なお、政務活動費の収支報告一覧は、議事事務局のほか、市役所本庁舎及び庄和総合支所の市政情報室で閲覧できますので、お問い合わせください。

閉会中の委員会活動

▽議会運営委員会

8月19日

・平成27年9月定例会の運営について

▽議会改革検討特別委員会

8月20日

・議案質疑と一般質問のあり方（代表質問制度等）について

・政務活動費における備品購入について

・中間報告書（案）について

▽広報広聴委員会

9月29日

・議会だより第41号の発行について

・議会報告会の開催について

10月2日

・議会だより第41号の発行について

・議会報告会の開催について

・行政視察結果報告書について

▽図書室運営委員会

9月29日

・図書購入の申し込みについて

編集後記

本年10月1日に新春春日部市施行10周年を迎えました。

この間、春日部地域と庄和地域を結ぶ藤塚米島線が全線開通するなど、新たな春日部市としての一体感が生まれてきたことと思います。

これまでの10年を振り返るだけでなく、これからの春日部市のため、正副議長を筆頭に、議員一同まい進してまいりますので、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

広報広聴委員会

- 委員長 荒木 洋美
- 副委員長 大野とし子
- 委員 石川 友和
- 委員 水沼日出夫
- 委員 斉藤 義則
- 委員 古沢 耕作
- 委員 矢島 章好
- 委員 蛭間 靖造
- オブザーバー
- 議長 中川 朗
- 副議長 鬼丸 裕史

〒344-8577

埼玉県春日部市中央六丁目2番地

春日部市議会

TEL 048-736-1111（代表）

内線3116